

中津川市立蛭川小学校で防災講座を行いました

令和8年10月1日（木）、中津川市立蛭川小学校で5年生23名、6年生16名に地震の防災講座を行いました。この学校での講座の実施は3回目です。当日は防災スクールとして各学年様々な活動が行われていました。

講座では、岐阜県に甚大な被害をもたらした135年前の濃尾地震、近年の能登半島地震や熊本地震など過去の地震、液状化現象、長周期地震動などについて学習しました。液状化現象については、街を表した模型やペットボトルを用いた実験を通して発生する仕組みを考えながら理解を深めました。

講座中は皆さん熱心に話を聞いており、特に液状化現象の内容について関心を持っている様子が見受けられました。

講座後には、「周期やマグニチュードなど色々なことを知れてとても勉強になった」「液状化現象について知れてよかった」などの感想がありました。

今回の講座が児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は中日新聞に取材頂きました。

